新年あけましておめでとうございます

生徒会を代表して始業式で久木さんが決意表明！

自然物、例えば石や水や風などには、人間のような意思はありません。いや、ないと思い込んでるだけかもしれません。ですから、大雨や地震や台風など、意思がないと思っている自然物が起こす事態に、人間を超越したものの力を感じ、畏敬の念を抱くのかも知れません。昨年末、日本各地が大雪に見舞われました。数年に一度の寒波が来襲して、我が家の前では、三十センチを超える雪が降りました。朝早くから雪かきをしながら、「コロナで全国が疲弊しているときに、なんでこれでもかとでも言うようにどか雪が、しかも大晦日に降るんだ。」と言うと、嫁さんが、「コロナで大変だった今年一年を、真っ白に覆い尽くし、まるで何事もなかったかのように、新しい気持ちで新年を迎えなさいという雪の意思の表れなのかも知れない。」と言いました。もしそうであるならば、その雪の思いのように、今年は、コロナときっぱりと決別できる年になればいいなあと思っています。

二〇二一年が始まりました。新年明けましておめでとうございます。みなさんは新年をどのように迎えられたでしょうか。全国各地では、コロナの関係で例年よりもはるかに少ない人出だったようで、毎年多くの参拝客で賑わう神社も人はまばらで、道路や鉄道も空いていたようです。

さて、湖東中学校は、今年は四日が始業式でした。朝、「明けましておめでとうございます。」と元気な声が校舎に帰ってきました。始業式は、校長室からの生放送でおこない、学校長が「**みなさんは、新しい年の朝をどんなふうに迎えましたか。朝はスタートのときです。「朝」という文字は、「十月十日」という漢字からできています。十月十日（とつきとおか）とは、赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいる期間とされています。「とつきとおか」で、新しい命が産まれてくるのです。そういう意味では、人は毎朝生まれ変わるともいえます。実際に、胃や腸は五日で、皮膚は二十八日で、新しい細胞ができるといいます。昨日と同じように思える体ですが、実は毎日少しずつ細胞が生まれ変わり、毎日成長しているのです。心も、毎日成長につなげていきましょう。朝がくるたびに、新しいことが始まるという意識をもち、昨日までのうまくいかなかったことを切り替えて、新しい目標に向かって着実に実行していってください。笑う門には福来たるといいます。いつもにこやかに笑っている人の家には、自然に幸福がやって来るということです。今年も、笑顔で命を大切にして過ごしてほしいと思います。私を含めて、たくさんの人がみなさんを応援しています。**」と挨拶をし、続いて生徒を代表して、生徒会副会長の久木一花さんが、「**私の目標は、『勉強と部活の両立、そして生徒会活動に全力で取り組む』ことです。私は、一年生の時から生徒会の仕事をさせてもらっていますが、今年からは副会長として、これまでよりたくさんの仕事をこなさなければいけません。また、四月からは三年生になるので、受験に向けての勉強が必要になってきます。部活面では、最後の大会も近づいてくるので、今までより練習量が増えてきます。このようにやることが多くなっていきますが、それに負けないよう、すべてこなせるように頑張ります。**」と新年の抱負を述べました。

その後、一・二年は学び確認テスト、三年は授業をおこない、三学期がスタートしました。

年賀状展と書き初め展

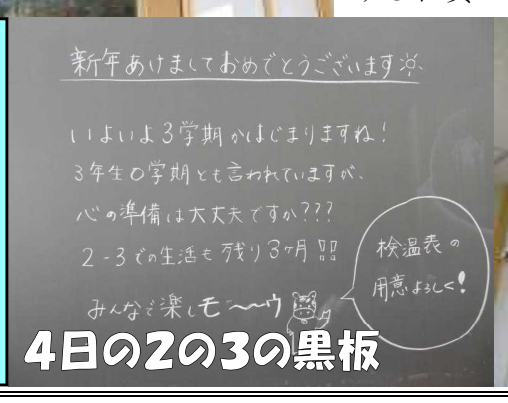
少しでも生徒の励みになれば！！

毎年、各教科の冬休みの宿題を校内に展示しています。今年も美術科が一年生年賀状展を別館一階で、国語科が一・二年生書き初め展を学年の廊下で行っています。

年賀状展は、各クラスごとに掲示され、金銀銅の賞がついています。また、書き初め展は、各学年の先生の名前がついた賞が貼り付けられています。少しでも生徒の励みになればと思います。

引き続きコロナ対策を！！

コロナウイルスの感染拡大が止まりません。首都圏では緊急事態宣言も出されました。毎日報道される感染者の数にも驚きが感じられなくなっています。一番危険なのは、気の緩みです。手洗い、マスクの徹底、こまめな換気、不要不急の外出を避けるなど、引き続きコロナ対策を徹底していきましょう。特に３年生は、受験の時期が近づいてきました。自分自身の体調管理に努めてください。



4日の2の3の黒板